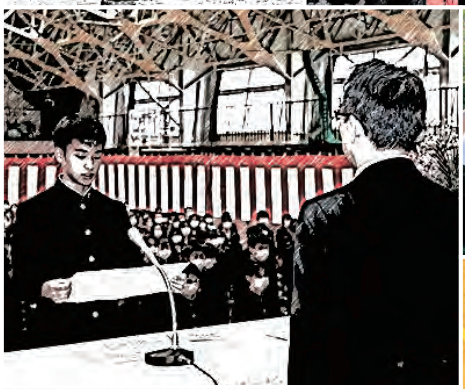
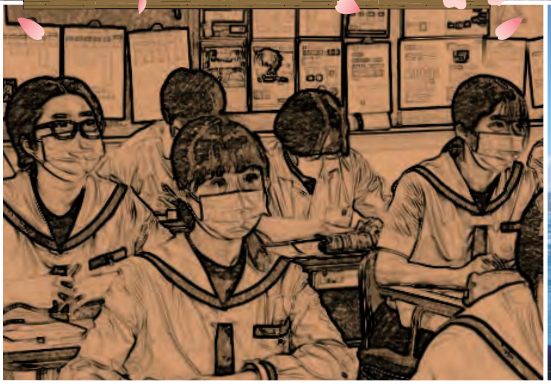
はるにれ

題字　小野蒼州





発 行 者/五所川原高等学校PTA　編　集/五所川原高等学校広報委員会　印 刷 所/有限会社　アート印刷

「出会いを大切に」

第三十六代 校長
大瀬幸治

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。これまで五高で培ってきた多くの経験と身に付けてきた力、そして「力行天下第一」の精神を自信に変えて、新たなステージで一層飛躍していくことを期待しています。また、保護者の皆様におかれましては、これまで長きにわたって本校のために御尽力いただいたき深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを心より祈念しております。

「すべては、一匹のネズミとの出会いから始まった」

これは、皆さんもよく知っているウォルト・ディズニーの言葉です。まだ、名も売れず貧しい暮らしをしていた若きディズニーと一匹のネズミとの出会いが、ミッキーマウスという愛くるしいキャラクターを創り出しました。そこからすべてが始まり、ディズニーは全世界の子供たちをはじめ、老若男女すべての人々を魅了してやまない多くの作品を生み出していきました。

出会いには、多くの夢と希望が詰まっています。出会いは何も人間だけとは限りません。一匹のネズミでもいいし、一冊の本でも構いません。大切なことは、出会いというものがこれまでの自分にはない新しい価値を運んでくるということです。自分を変えてくれる大きな要素を含んでいるといってもいいでしょう。

昨今国内外問わず様々な課題が山積している中で、多様性を尊重することが求められています。それは、多様性が高まることにより、人や価値観の新たなコラボレーションが生まれ、新しい発想やイノベーションのきっかけとなることが期待できるからです。自分と異なる意見や立場を理解し、受け入れようとする柔軟な姿勢が課題解決に向け大きな意味を持つことは言うまでもありません。ですから、自分の安全領域を抜け出して、積極的に未知の出会いを求めていくことは、とても大切なことです。我々が享受している文化の本当の素晴らしさを知るようになるのは、他の文化に接したり、異なる価値観を経験してからです。慣れ親しんだものを否定してみなければ新しい一歩は踏み出せず、また自分にとって異質なものを理解しようとする進取の気概がなければ、自分が持っている真価は他に理解されないものです。多くの人と出会い、認め合うことで、いろいろな考え方や見方に触れ、新たな価値と遭遇でき、自らの選択の幅や思考の幅が広がっていきます。

これからの長い人生において、出会いは、自分の生き方に少なからず影響を与え、自分の未来を創っていくものになります。多くの人との出会いを大切にし、多様性を尊重する姿勢を大事にしてほしいと思います。

「ダーウィンの進化論」

PTA会長　髙橋尚裕

３年生の皆さん、心よりご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様の成長と卒業を心より祝福いたします。また、大瀬校長先生はじめとする教職員の皆様におかれましては、日頃から子ども達の授業や部活動の指導に尽力いただき、この場をかりて心より感謝申し上げます。

今年度は、未曾有の新型コロナウイルスが終息に向かい、新たな時代の幕開けとなる一年でした。約３年間やっていなかった活動が以前のようにできるのだろうか、という不安は誰もが持っていたと思います。しかしながら、教職員の皆様の尽力と保護者の皆様の協力のおかげで、様々な活動やイベントが通常通りに行われ、子ども達は充実した学校生活を送ることができたことを嬉しく思います。

さて、私が座右の銘にしているダーウィンの言葉があります。「種の存続は、最も強いものや最も知恵のあるものが生き残るのではなく、最も適応できるものが生き残る」という言葉です。今の時代にぴったりのメッセージではないでしょうか。私たちはコロナという逆境に適応し、新しい生活を作り上げてきました。この経験は、皆さんの未来においても貴重な資産となることでしょう。

これから先、卒業生の皆様は新しいステージへ進むことになります。進学や就職、未知の世界への飛躍が待っていますが、ダーウィンの言葉を胸に、柔軟で適応力のある姿勢を持ち続けてください。変化という逆風が吹いても、それを乗り越える力が皆さんの中に備わっています。卒業生の皆さんのこれからの成功と幸福を心よりお祈りしています。五所川原高校の関係者は、いつでも皆さんのことを応援していますよ。

最後になりますが、挨拶運動や立佞武多運行、学年部会、各委員会による研修や広報誌の作成など、保護者の皆様、校長先生はじめとする教職員の皆様の尽力のおかげで１年間のＰＴＡ活動を行うことができましたこと、改めて感謝申し上げます。これからも、子ども達が充実した学校生活を送れるよう、ＰＴＡ活動も、時代に合わせて進化していくことを願っております。１年間ありがとうございました。

「答えのない未来への挑戦」

教頭　福士貴博

昨年末に衝撃的なデータが出てきた。国立社会保障・人口問題研究所から出された「日本の地域別将来推計人口（令和５年推計）」である。２０５０年には青森県の人口が、２０２０年の１２３万人から39％減少し75万人になるという予想。五所川原市も45％減少し、２万８千人程度。五所川原市以外の西北地区市町村はすべて50％以上減少するという。市町村の存続自体が危ぶまれる。ちなみに青森県の人口が80万人を切ると、大正時代の人口とほぼ同じになる。しかし、大正時代は若年齢層の方が多く、人口ピラミッドはきれいな三角形（富士山型）をしていた。それに対し２０５０年は壺型をさらに進化させた、細く頭だけが膨らんだ形、つまり超高齢化社会となり、人口は大正時代と同じでもその構成は大きく異なる。このままでは危機的状況が訪れることが予想される。

現在、本校では総合的な探究の時間で地域課題をテーマに探究している。西北地域の産業、祭り、医療、教育、活性化など答えのない課題に対して解決策を探る。調査方法も様々でグループで協力しながら市役所や病院に出かけていきインタビューしたり、街頭アンケート、本校生徒へのアンケートなど。出てきた結論や考察はまだまだ課題解決に直接結びつくものは多くはない。しかし、結果は問題ではなく、地域の高校生が仲間とともに地域を探究すること、地域と関わること自体が重要なのである。

３年生の皆さん、卒業おめでとうございます。多くは進学するため、一旦他の地域へ出ると思います。その後の地元への関わり方はそれぞれで、地元に戻る人、県外や海外から地元を応援する人など。同窓会等で集まったときにでも話題にしてほしい。何気ない一言が課題解決に向けた大きなヒントになるかもしれない。高校時代の経験と卒業後に身に付けたものを融合させ、答えのない未来へ挑戦してほしい。人口減少の進む中、西北地域がそれでも住みよい町になっていくために、皆さんが活躍することを期待します。

人と関わる大切さ

三学年部会長　前田　輝美

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

顧みると、三年前はコロナ禍でしたが、皆さんが希望に燃えた瞳と輝かせて本校の門をくぐっていたのが、ついこの間のように思えます。

今年度はコロナが五類へ移行となったため、学校行事が全て開催することができるようになりました。

また、部活動では、授業だけでは学べない人間関係の楽しさや難しさを経験できたことでしょう。

三年生がメインとなる五高祭の模擬店は、地域の方々も参加することができて、大盛況に終わることができました。

五高立佞武多では、礼儀や協調を身につけて成長している姿を見ることができ、胸が熱くなりました。

この三年という歳月、大切な人達と出会えたこと、また様々なことに直面し、多くの方々が見守り、支えてくださったことへの感謝の気持ちを忘れないでください。そして貴重な三年間を送った皆さん、「力行天下第一」の学校標語を心に刻み、何事にもトライしてほしいと思います。

息子は、入学式では私と同じくらいの背丈でしたが、今では身体も見違えるほど大きく逞しくなりました。昨年の六月、突然の親友との別れがありましたが、辛い出来事を受け止めながら前へ進んでいます。これも本校で学んだ知識、豊かな人間性を育んだからこそ、得ることができたと思います。

最後に、ＰＴＡ会員の皆様、地域の皆様、本年もＰＴＡ活動にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。また、校長先生をはじめ先生方、そして事務局の方々の献身的なご指導には、深く感謝申し上げます。

本校での思い出とこれからの希望を胸に大きく羽ばたいてください。前途洋洋たる未来に幸多きことを祈ります。

受賞おめでとうございます

第１４回
けんしんようエコ絵画コンクール
テーマ：
青森県の美しい森林、自然生物
31HR 横山　実里

第52回 全書芸展 全書芸賞・文部科学大臣賞
32HR 工藤　未侑

健全育成委員会の活動を振り返って

健全育成委員長　安田　昌孝

３年生の生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。みなさんが過ごした高校生活３年間は、コロナ禍から始まり不自由なこともあったかと思いますが、２年生の修学旅行、３年生の立倭武多市内運行など、学校生活での思い出を無事に築くことができたことを大変喜ばしく思っています。

本校ＰＴＡの健全育成委員長を３年間務めさせていただき、その間は多くの先生方と保護者の皆さまのご協力を賜り、無事に任を全うすることが出来そうです。

今年度の健全育成委員会の活動は、春と秋の年２回のあいさつ運動を実施し、保護者と教職員のご参加をいただき感謝しています。朝に元気よく登校する子ども達の普段とは違う成長した姿を見ることができ、大人の私たちも嬉しく感じています。

五所川原市立倭武多祭りでは、学年別に立倭武多を市内運行することができ、保護者の皆さまから大変多くの参加ご協力を頂いたとともに、子ども達が制作した立倭武多「菅原道真」を子ども達の多くの笑顔や一体感に溢れるエネルギーとともに出陣させ、一緒に体感できたことは感無量です。

校外研修はじめ学校生活･学校行事も通常に戻っていくなかで、五所川原高校ＰＴＡの更なるご発展と、将来を担う五高生の未来が更なる笑顔溢れる豊かなものになることを願っています。本当にありがとうございました。

広報委員会の活動を振り返って

広報委員長　横山　有紀

３年生の皆さん、保護者の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。

高校合格おめでとうと声をかけ、入学式の看板と写真を撮ったと思ったら、もう卒業を迎えてしまいました。

コロナに振り回された３年間でした。しかし行事や行動が制限された時期でも、先生方や皆様のご協力のおかげで「はるにれ」は発行され続けました。学校生活が見えにくくなったからこそ、広報紙の役割が濃く浮き出された気がします。歴代の広報委員が頑張ってきた「学校と家庭をつなぐ」が今年度もできていればいいなぁと思います。

３年間の広報委員活動の中で、特に難しかったのは特集についてでした。学校広報で何を伝えたらいいのか、どんな記事が望まれているのか、五所川原高校の「はるにれ」らしさとは何ぞや…と。こうして頭を悩ませることもいい経験だったと思います。

３年間、貴重な経験と有意義な時間をいただきありがとうございました。これからも「はるにれ」に載せきれないほどの充実した学校活動が続くことを祈念しております。

一年間を振り返って

研修委員長　奈良　真弓

五高研修委員長（青森県高Ｐ連・西北地区協議会兼務）を務めさせていただきました奈良真弓です。日頃、ＰＴＡ会員の皆様には、活動協力をしていただきありがとうございます。委員会活動の陰には、渉外部の川口先生をはじめ、下準備を細かくして下さる先生方に、心からの感謝の言葉を言わせて下さい。本当にありがとうございました。コロナによる制限も少しずつ緩まり、令和５年10月５日には、プラザマリュウにて、メンタルプロコーチである津村柾広さんを講師に迎えた研修会、10月26日には、最高の秋晴れの中バスで出かけた校外研修。康楽館、小坂鉱山事務所、七滝散策、小坂ワイナリー。委員長と言っても、何も特別ではない、皆さん同様子供を持つ親です。受験の事、子育ての苦労話、部活に行けてないとか、現実に悩んでいる方達はたくさんいらっしゃいます。少しの時間でしたが、親にもそういう事を話せる、ゆっくりとした時間が必要で、その日は青空で特別にいいお天気だったので、参加して下さった会員の方々も、口々に「良い一日だったよ。ありがとうございました。」と笑顔で言って下さいました。決まりきった研修会だけではなく、親の弱い所も出せる、そして励まし合えるささやかな時間を作る事を、これからの研修委員会にも期待したいと思います。微力ではありましたが、一年間ありがとうございました。本当に良い経験になりました。

言えない家族へのメッセージ

私がすることに口出しせずに見守ってくれてありがとう。おかげさまで好きなことやしたいことを思う存分にできました。これからもずっと地元に残る予定なのでよろしくお願いします。いつか一緒に旅行しましょう。

31HR
会津　佳乃

やりたかったことをなんでもやらせてくれてありがとう。ピアノがあって本当に良かった。大学に行っても大変なこと沢山あると思うけど、これからもよろしくお願いします!

31HR
長内　由佳

十八年間、本当にありがとうございました。みんなのおかげで希望の大学に進学することができ、嬉しい限りです。この感謝を忘れず、大学でも頑張ります。これからも手がかかると思うけど、よろしくお願いします。

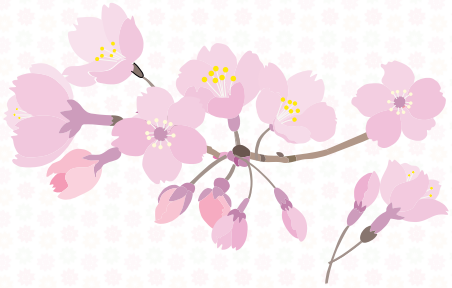
31HR
木村　文音

三年間楽しい高校生活をおくらせてくれてありがとう!将来の夢について話すといつも「たくの好きなことやれ」と言ってくれるのでここで宣言します。大学卒業したら新日本プロレスで働く!!

32HR
奈良　拓夢

十八年間育ててくれてありがとうございました。大変なことしかなかったとおもいますが、その中でも相談に乗ってくれたり、色々サポートしてくれたことに感謝しかないです。あともう少しだけよろしくお願いします。

32HR
平野　琳久



五所川原高校を卒業できたのは両親の支えがあったからだと今になってしみじみと感じます。本当に感謝しています。とても楽しく学生生活を過ごせました。こんな自分を毎日通わせてくれたにも関わらず見苦しい通知表を見せてしまい申し訳ございませんでした。

33HR
伊東凛太朗

家族の皆さん、十八年間育ててくれて有難うございました。体調を崩しがちだった自分を気にかけてくれたこと、本当に感謝しています。割とマジで。自分にできたことは目に良い成績表を見せることでした。大学へ行っても協力してくれることを期待しています。

33HR
小鹿　竣平

十八年間育ててくれて本当にありがとうございました。お父さん、お母さんのおかげで無事に大学に入学することができました。大学でしっかり勉強して立派な大人になるようにこれからも頑張ります。

33HR
松本　悠希

十八年間育ててくれてありがとう。これまで壮大な喧嘩や豪快な説教をたくさん受けてきたけど、おかげでここまで成長できました。充実した日々を送ることができて楽しかったです。これからも威勢の良い元気な母でいてください。

34HR
今　翔太

十八年間育ててくれて、自由気ままに生きさせてくれてありがとう。おかげさまでこんな人間に育ちました(良い意味で)。この先も様々な人と出会っていく中でも「人と人とを結ぶ人」として明るく元気に過ごしていくので応援してください。

34HR
堀内　結人

沢山のわがままを聞いてくれてありがとう。小さい頃から今になるまでに習い事や部活、資格やオーキャン、受験など。様々な場面で費用や時間を割いて私を支えてくれましたね。その支え無しでは素敵な友人達に出会う事も志望校に合格する事も叶いませんでした。家族あってこその自分だと思っています。あと何十年よろしく。飛鳥家最高。ありがとう。

34HR
飛鳥　沙月

私は小さい頃から心が弱く、体調も崩しやすい人間だった。そんな私を温かく見守り育ててくれたのは家族だった。何日も体調を崩した日だって私のことを看病してくれた。そんな家族に伝えたい。ありがとう、大学はできるだけ体調を崩さないように頑張る。

35HR
今　崇人

十八年間育ててくれてありがとう。進路について悩んでいるときには相談にのってくれたり、背中を押してくれたこと本当に感謝しています。これからは、立派な大人になって親孝行できるように頑張るので、健康に気をつけて長生きしてください。

35HR
高橋　佑輔

小学校から野球を始め、塾に通わせていただき、中・高は辺鄙な場所へ行くことになり送り迎えでは大変お世話になりました。特に反抗期もなく十八歳を迎えたのです。これからも仲良くしていきましょう!のぶ。

35HR
福岡　泰壮

あ♥り♥が♥と♥う 普段は

31HR
齊藤　彩寧

今まで育ててくれてありがとうございました。笑い話で家庭を笑顔にしてくれた父、いつでも相談にのってくれた母、陰ながら支えてくれた兄には感謝してもしきれません。たくさん親孝行したいので、二足歩行で長生きしてください。

31HR
下山　碧月

手間もお金もかかる大変な娘だったと思いますが、今まで支え育ててくれてありがとうございます。東京でもカウンセラーを目指し頑張るので、これからもよろしくお願いします。家族全員、元気で幸せに過ごしてください。

31HR
高橋　美羽

十八年間私の成長を見守り支えてくれてありがとう。特に高校三年間は進路のことで揉めたりしたけど、何とか無事に卒業できそうです。この文章を書いていることが何よりの証拠です。親孝行するまで生きてください。これからもよろしく。

32HR
太田あすか

母へ。どれだけ忙しくても、毎朝お弁当を作ってくれたり、必ず練習試合も公式試合も観戦しにきてくれてありがとう。小さい頃から第一に私と弟のことを考えて育ててくれてありがとう。母の様に色んな人からありがとうを言って貰える人になって帰ってきます。

32HR
小山内夢珠

今まで、挑戦したいことを全て叶えてくれてありがとう。そのおかげで多くの人と出会いたくさん学ぶことができました。これからも心配はかけるかもしれないけど、少しずつ成長していくのでよろしくお願いします。

32HR
齊藤　里桜

お父さんとお母さんのおかげで充実した高校生活を送ることができました。特に今年は進路のことでたくさん負担をかけてごめんなさい。就職したら、行けなかった新婚旅行に連れて行くので、二人とも長生きしていてください!!

33HR
山中　直翔

十八年間、育ててくれてありがとう。朝早くに起きて、手の込んだお弁当を毎日作ってくれました。大変なはずなのに、一言も愚痴を言わず、「今日も頑張ってこい!」と声を掛けてくれて、そのおかげで楽しく学校に行けました。今度は自分が親孝行します。

33HR
竹原　真菜

十八年間、元気があり余る私を育ててくれてありがとう。私が何かに挑戦する時に、いつも応援してくれて、元気いっぱいで面白いお母さんが大好きです。私が居なくなり寂しくなると思いますが、おいしい牛肉を食べさせてあげられるように頑張ってくるから、期待して待っていてください。

33HR
三上　絢加

十八年間元気すぎる私を育ててくれてありがとう。私が悩んでいた時に相談に乗ってくれたり、毎日忙しい中送迎をしてくれて本当にお世話になりました。これからは北海道で理学療法士になるために札幌の地で勉強に励んで必ず親孝行します。そして両親に私が元気に大学野球やプロ野球に携わる姿を見てもらいたいと思います。仕事が落ち付いたら是非北海道に野球観戦しに来てください。

34HR
今井　彩歌

十八年間育ててくれてありがとう。怪我が多く入院や手術を繰り返す私を育てるのはとても大変だったと思うけど、二人のおかげでこんなにも元気になりました。感謝しかありません。四月からは二人だけになるけど、健康には気をつけて仲良く暮らしてね。

34HR
中山　麗華

十八年間育ててくれてありがとうございました。無事に高校を卒業し、大学進学をすることができるのは家族のおかげです。今後はアルバイトをし、少しでも自立した生活を送れるように頑張ります。

34HR
原田奈桜子

十八年間育ててくれてありがとう。望まないスタートだったけど、家族に支えられて、高校での日常生活も部活動も充実させることができました。心から感謝しています。これからも健康に気をつけて、元気に過ごしてね!!

35HR
有馬日菜多

十八年間育ててくれて本当にありがとうございます。高校三年間は精神的にきつくなるときが多かったけど、その度に前を向けるような言葉をくれて、いつも支えられました。これからもその言葉を忘れず進んでいきます。応援してください。

35HR
髙橋　美咲

高校三年間いろいろな面で支えになってくれてありがとう。沢山お世話になった分、親孝行できるように大学生活を大切にして、あまり心配をかけないように頑張ります。これからも応援よろしくね。

35HR
野上　理心

十八年間育ててくれてありがとう。人一倍心配をかけてきたけど、それ以上に感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの優しさをありがとう。これからも色々とよろしくね。元気でいてね。

親から子へ 卒業生へのメッセージ

I'm proud of you.

佐藤　大輔(31HR 穂之生)

毎朝や毎食時、「おはよう」「ごちそうさま」と挨拶してくれること。手料理や買ってきた総菜を「旨いな！」とモリモリ食べてくれること。学校や部活の送迎降車時に「ありがとう」と言ってくれること。学校や部活の話を尋ねると、面倒そうにしながらも、話し始めると楽しげに教えてくれること。「温泉行こ」「ラーメン屋行かん？」と誘うと、三回に一回は付き合ってくれること。かるた部の活動に没頭し、応援する楽しみをくれたこと。そして部員の皆さんと切磋琢磨しあって全国大会に出場し、TVドキュメンタリーの素材にまでなって楽しませてくれたこと。二年連続でＨＲ委員長、嫌々ながらも責任感をもって文化祭の計画・準備に奔走したこと。部活で忙しい中、疎かだった学習も、授業に集中して成績を上げ、先生方の支えを糧に進学を決めたこと。妹が親にも心閉ざし苦しむ中、部屋を訪ねて思いを話してくれたこと。記念日には、「いつもありがとう」と声をかけ、ハグしてくれること。

高校３年間、いや生まれて１８年間、いつも貴方の明るさと優しさ、穏やかさや賢明さに私たち夫婦は幸せを貰っています。ありがとう。前途に幸あれ。

拓夢へ

奈良　真弓(32HR 拓夢)

拓夢の瞳が輝くのは、プロレスの話をする時です。東京ドームに参戦する時は、一人、新幹線に乗って、自分だけの旅をしてきます。息子を支えているのは、闘い続けるプロレスラー達のパワーかもしれません。五高バスケ部では、結人君・涼佑君・修羅君・一誓君達すばらしい仲間に出会い、切磋琢磨し、最後の最後までハラハラさせ、涙を流させてくれるほどの熱い試合を見せてくれた事には心からの拍手と、ありがとうを贈ります。支えてくれた後輩のみなさん、マネージャー、コーチ、監督である平川淳一朗先生にも大感謝です。ありがとうございました。そして、息子が一生懸命考え、行動したのは生徒会でした。会長である長内由佳さんの元、五所川原高校の生徒の為、これからこの学校を目指してくれる受験志望倍率が上がる事を願って、色々な挑戦や工夫にたくさんの時間を使い、がんばっていた事、拓夢自身の宝物になると、おっかぁは思います。文化祭では、吹奏楽部の皆さんのすばらしい演奏をバックに歌わせてもらった、怪獣の花唄。どの場面をとっても、拓夢は恵まれたと思います。一足先に行く道は決まったけれど、受験期間真っ只中。最後は仲間達そろって喜べますように‼拓夢の人生だ、やりたい事をやれ！卒業おめでとう。

（おっかぁより）

お弁当も卒業

山中　麻子(33HR 直翔)

今まで、沢山話して笑ってケンカしたけれど、いつの間にか、自分の考えを持ち、対等に話し合えるまで成長していました。学校での話もよく教えてくれ、面白くて沢山笑わせてもらいました。高校生活を振り返った息子が「最初は新しい環境に慣れるのが大変だったけれど、今は友達と一緒に楽しく過ごせている」って、当たり前のことのようだけれど、感慨深く、しみじみ話していたのが印象的です。

色々考えて作ったお弁当は、何故か毎日ほぼ同じになりましたが、美味いと言ってくれて救われました。高校生活も残り僅か、楽しんでほしい気持ちと応援とイジリを込めて作った、海苔のメッセージ付き弁当。海苔を切るのが大変で完成度は低かったけれど、楽しんでくれたようで、私も満足です。

お風呂から聞こえてくる口笛に、歌のチョイスの心境がわからず笑ってしまいますが、まだまだ可能性を感じます。後悔せず、やりたいこと、新しいことに挑戦してください。成長を楽しみに、応援していますよ！

最後に、息子の良さを引き出してくれた、木村先生とお友達、支えてくれた皆様に心から感謝致します。ありがとうございました。

今あるすべてに感謝

堀内　貴子(34HR 結人)

小学生から始めたバスケットボールを中学、高校と続けて遂にキャプテンとなった君。仲間に恵まれ唯一無二のチームができ、部活を楽しむ様子に安堵していました。３年の春まさかの大怪我。完治せず満身創痍で迎えた春季大会と高校総体。気が気でない親の不安をよそに、堂々と仲間とコートへ向って行く姿に頼もしさと誇らしさを感じました。最高のチームで掴み取った念願の２大会連続県ベスト８！胸が熱くなる感動をありがとう。

部活引退後は受験に目標をシフトし、バスケで培った精神力を勉強に向けていったね。いつも通りを装った笑顔の裏で、親には心配かけまいと思い悩んでいたことを知っています。君を慕う友達や先輩後輩、支えてくれた先生方のおかげでそれらを乗り越えられ、思い描いた未来の入口に今立てています、築き上げた友人関係と数々の経験は一生の財産です。すべてのものに心から感謝しよう。

私の好きな曲の歌詞『心は誰にも見えないのだから　見えるものより大事にするといい』を君に贈ります。これからも自分を大切にしてください。ずっと応援しています。

息子と共に学び舎を巣立つ皆さんの未来が輝きに満ちていますように！

三年間のおしゃべり

太田　智賀子(35HR 彩琴)

朝の車、後ろで目を閉じ降りる時に帰りの時間の確認と「いってらっしゃい」の短い会話。帰りは助手席に乗り、お互いの今日一日あった事を会話しながらの帰宅も、残り少なくなり少し寂しく感じています。

帰りの車に乗ってくる娘の表情で、今日はどうだったのかが分かり、あぁだ・こうだの会話が一番楽しかったです。

高校に入って一ヶ月位で、暗い顔での帰宅が増え、「部活辞めたい」と言う日が続きました。簡単に辞めると言う子ではなかったので、私の三年間でこの時が一番心配しました。それでも良き先輩・仲間に励まされ、持ち前の根性で乗り越え、トレーナーとして前に出る事で自信に繋げ、目標だった東北大会に進むことができました。春からの進路はまだ分かりませんが、吹奏楽は続けたいと言う娘。そう思えるのは相談に乗ってくれた友達、いつも笑顔でそばにいてくれた友達のおかげだね。

卒業おめでとう。これからも幸せな人生を歩んでいけるようにずっと応援しています。楽しい時、嬉しい時は一緒に喜び、悲しいとき苦しい時はギュッと抱きしめるよ。

最後に、担任の鳴海先生、顧問の松山先生、三年間ありがとうございました。

3学年団より

31HR担任　松山　和裕

「五高」を何と読むか?――私の実感としては、「ゴコウ」よりも圧倒的に「ごたか」と読む人が多い印象だ。しかし、国語教師的には「ごたか」の読みに違和感を覚えなくもない。そもそも、「五所川原高校」を省略しているのだから、素直に「ゴコウ」と読めばよいものを。また、「ごたか」のように熟語を音訓混ぜて読むのは、「重箱読み」といって変則的な読み方とされる。あくまでも通称・俗称であるはずの「ごたか」が、本来的な読み方であるはずの「ゴコウ」より人口に膾炙しているのはなぜか。

近隣にある工業（工科）高校の略称と区別するためか？いや、これには「青高（せいこう）」「八高（はちこう）」などの反例がすぐに思い浮かぶ。「ゴコウ」よりも「ごたか」の方が頭の中に漢字を思い浮かべやすいからか?単なる慣習?あるいは、「ごたか」とあえてイレギュラーな読み方をすることで、他校との差別化を図っているのでは――五高は並みの学校ではない、伝統ある進学校だ!というプライドや畏敬の念が人々をして「ごたか」と読ましめているのではないか!?……いずれにせよ、「ごたか」という癖のある読み方に愛着を持つ人が多いことは興味深い。ただし、「五高祭」「しん五高」「五高新聞」「五高音頭」はすべて「ゴコウ」らしい（某OB談）のでお間違えなく。以上、私なりの五高（ごたか）愛を語りました。

32HR担任　石戸　裕朗

3年2組は、とても明るく、笑顔の絶えないクラスでした。さらに競技大会や文化祭などの行事では、みんな一致団結し、ひとりはみんなのためにみんなはひとりのために、それぞれが自分の役割や責任を全うして行動していたのが印象的でした。各部活動においても部長や副部長などで活躍する人が多くいたこともクラスをまとめていく要素になっていたと思います。これからの人生でも一般意志を大切にしながら、洞窟を出て真理を追い求めてください。

33HR担任　木村　仁美

五所川原高校に赴任して、6年目の「3組」担任です。なぜか私が担任するクラスはいつも~~うるさ~~にぎやかでした。担任のおしとやかさをクラスのみんなでカバーしてくれているのでしょうね。元気な3組でのこの2年間は、私にとって驚きと感動の連続でした。授業中は黒子のように息を潜めているのに、授業以外で発揮されがちだった有り余るパワー!　トイストーリーマニアも模擬店も、自分たちで考え、納得いくまで話し合い、私が予想していたよりはるかに素晴らしい完成度で学校全体を盛り上げてくれました。そしてそのパワーは受験期になり、どんどん勢いを増します。放課後、教室には毎日多くの生徒が残り、教え合い、議論を交わし、貪欲に学びの質を高めていきました。中庭に輝くクリスマスツリーを眺めて自分を奮い立たせ、歯を食いしばり、時には袖を濡らしながら、弱気になることもあったけれど、でも頑張って、頑張って、頑張って走り抜いてきた姿を一番近くで見てきました。担任として誇らしく嬉しい気持ちでいっぱいです。卒業を迎える今、多くの生徒がまだ戦いの真っ最中です。あとひと頑張り、もう少し伴走しますからね。

34HR担任　石田　和久

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。コロナが5類感染症に移行し、昨年の流行語に「4年ぶり」がノミネートされるなど、いつも通りの日常が戻ってきた中で、4組の皆は互いを思いやり、協力して数々の「いつも通り」の行事を乗り越えることができました。ただ、我々大人が考えるいつも通りの日常は、彼らにとっては未経験の連続であり、先輩たちの活躍する姿をあまり見ることなく先輩になった彼らにとっては、戸惑いが大きかったことだと思います。そのような中でも、34HRの生徒は落ち着きがあるので物事を冷静に判断し着実に進めていくことができる生徒が多かったため、安心して見ていることができました。行事の時はしっかり楽しみ、学業では気持ちを切り替えて集中し、メリハリをつけて学ぶ姿勢が身についた結果、1月の共通テストでは多くの生徒が自己ベストやそれに近い成績を収めました。4組の底力を見ることができました。これもひとえに、生徒一人ひとりの努力と、保護者の皆様の温かいサポートの賜物だと思います。3年間ありがとうございました。私も短い間でしたが、担任として関わることができ幸せでした。お子様の今後の活躍をお祈りし、卒業のメッセージをいたします。

35HR担任　鳴海　諒洸

3年生の皆さん卒業おめでとうございます。

就職する人はいないと認識しているので、進学する人に向けてメッセージを送ろうと思います。皆さんの卒業後の目標は何ですか?進学先での目標は何ですか?進学先を卒業後どんな人間になっていたいですか?日々を無駄にすることなく1日1日を大切に過ごして下さい。どのような経験も学びとなり、皆さんの人生を豊かにする糧になるでしょう。今の私が思う、20代の内にやっておけばよかったことを書いておきます。

1、国内外問わず旅にでること。百聞は一見にしかず。いろいろな景色を見て下さい。

2、学業の邪魔にならない程度の数種類のアルバイト。人生経験です。

3、読書。好きなジャンルに偏りがちです。視野を広げてみましょう。

どんな行動にも責任が生じます。自分の人生は自分の責任で生きていく。そのために勉強（学業、スポーツ、アルバイト、社会活動など）をたくさんおこない、立派な大人になって下さい。幸運を祈っています。幸あれ!!

3学年主任　瓜田　敦也

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。3年間の高等学校での生活は、お子様だけでなく、保護者の皆様にとっても一喜一憂の日々ではなかったかと思います。コロナ禍にあり、日々、感染症対策に神経を使い、成績のことや友人関係のことなどでお子様が悩みを抱えればそれに寄り添ったり、叱咤激励したりと保護者の皆様にとってもこの3年間はまさにジェットコースターのような日々だったのではないでしょうか。

さて、入学式を振り返ってみると全員マスクを着用しての参加、その後の学校行事の写真も集合写真のときだけ一瞬マスクをはずし撮影が終わるとすぐマスク着用と新型コロナの影響を色濃く受けた高校1年生であったことを痛感します。

それでも、ワクチン接種が進み、2年次のGW明けには行動制限が緩和され、無事修学旅行を実施できたことは、コロナ禍で思春期を過ごしてきた彼らにとってかけがえのない思い出を作ってあげられたのではないかと思います。我々教員団は、学校出発から旅行先でも、毎朝、健康観察カードの提出を義務づけ、ことあるごとに検温やら消毒やらと観光どころではなかったのですが生徒達の笑顔や笑い声に癒やされたことを昨日のことのように思い出します。後にも先にもこのような経験は私たちにとっても、生徒たちにとっても無い唯一無二のものになったのではないかと思います。

18歳成人に法改正され、卒業生のほとんどが法律上は成人ということになります。しかしながら、ほとんどの生徒が上級学校に進学する本校生徒たちはまだまだ学生という身分が続きますので、経済的な自立はまだまだ先であり、保護者の皆様にとっては心配事が尽きないのではないかと思います。本当の意味での自立にはやはり経済的な自立が必要だと考えますが、私としては「大学受験」を通じて、生徒たちに少しでも自立してほしいという願いがありました。大学合格を勝ち取ることはもちろん目標ですが、受験を通じて、時間の使い方を身につけ、情報を得る力やそれを整理する力を養い、出願等の手続きを通して社会のしくみを肌で感じるという経験が、今後の人生において大きな経験になると思います。

是非、生徒たちには本校で培ったさまざまな力や経験を生かし、自分の人生を自分の力で切り開くたくましい人になってほしいと思います。学校標語である「力行天下第一」（努力することに関しては世の中で一番であれ、努力を重ねて世の中で第一人者となれ）を体現できる人物であってほしいと願います。繰り返しになりますが、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。

台湾現地訪問

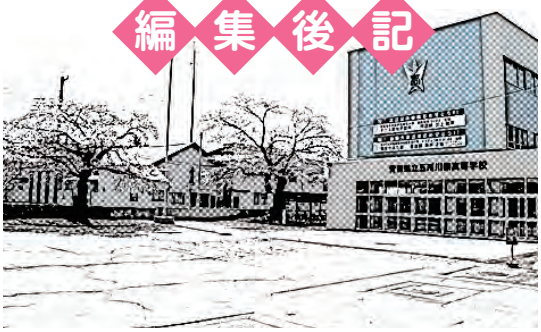
SRP（1年）

修学旅行（2年）

令和5年度 後期PTA・PTA後援会会務報告

年	月	日	内　容	場　所
R5	12月	15日(金)	高Ｐ連西北地区協議会 第２回三役会・役員会・ 情報交換会	パークイン 五所川原 エルムシティ
R6	2月	5日(月)	高Ｐ連西北地区協議会 研修委員会 第２回理事会	本校
		8日(木)	高Ｐ連西北地区協議会 健全育成委員会 第２回理事会	五農高
		9日(金)	第２回単位ＰＴＡ 会長会議	アップル パレス青森
		16日(金)	五所川原ＰＴＡ役員会・ 研修・健全育成・広報 委員会合同反省会	一心亭
		27日(火)	PTA広報紙 『はるにれ』第97号発行	
	3月	8日(金)	高Ｐ連西北地区協議会 第３回役員会	プラザマリュウ 五所川原
		11日(月)	ＰＴＡ・ＰＴＡ後援会 第３回三役会・ 第２回役員会	本校

編集後記



新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、緊急事態宣言が発出されてから４年が過ぎました。中学から不自由な日常を強いられた３年生は、少しずつ制限のない生活を取り戻し、今年は、コロナ前と同様に在校生も見送る賑やかな卒業式を挙行できそうです。高校生活でやり残したことが、進学先で行動の活力となると確信しております。

「はるにれ９７号」も無事完成することができました。

お忙しい中、原稿依頼にご協力頂き、ありがとうございます。

広報員会では、来年度さらなる情報を発信して参りたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。　（広報委員会）